

雑 報

553.32 : 550.85 (521.62) : 622.341

愛知縣田口鉦山マンガン鉦床調査報告

要 旨

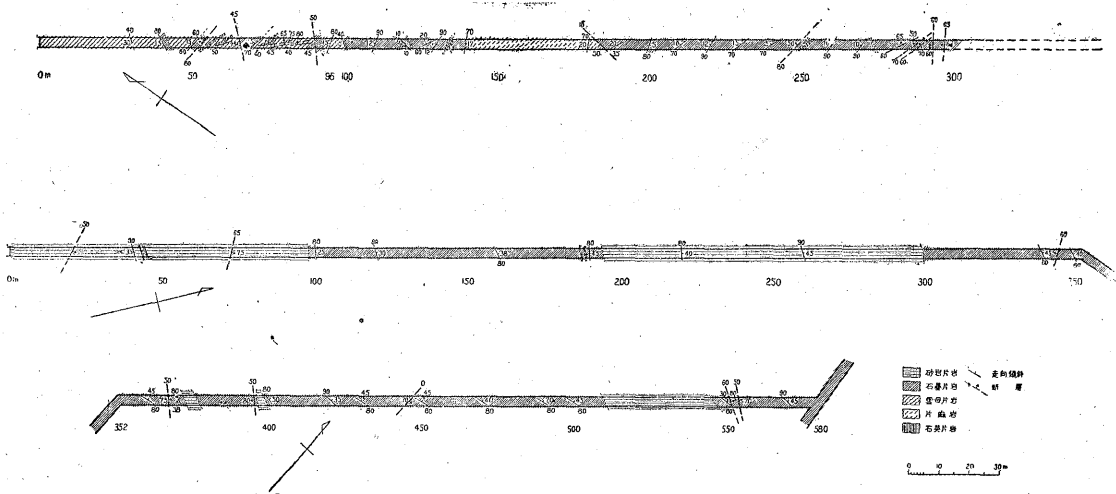
今回愛知縣鉦業会の要請により田口鉦山のマンガン鉦床を調査した。本鉦山は愛知縣北設樂郡田口町八ツ橋に位し、1949年本所官本技官が調査したことがある(本誌 Vol. 1, No. 5, 1950 参照)。その当時稼行されていたのは回天鉦体にして、今回は東に15m 延び、傾斜延長が約10m に達し、下部の鍾幅0.5に喰締つていた。また、あらたに着手した鉦体は本坑12米および本坑26米の両鉦体にして、いずれも回天坑の約27m 下部の本坑立入内において着鉦し、調査当時は鉦況劣勢となり、

ほとんど採掘済となるものもある。下部採鉦を目的として、本坑の約11m 下部に立入が開さくされている。

調査鉦床の規模は下表に示される。

鉦体名	延長	最大鍾幅	傾斜延長
回天鉦体	25 m	5 m	10 m
本坑26米鉦体	32~35 m	4 m	7 m
本坑21米鉦体	25 m	3 m	14 m

鉦石はおおむねバラ輝石を主とし、テフロ石、ダンネモル石、アレガニー石、菱マンガン鉦、硫マンガン鉦などを伴う。(大塚 實雄)



第 1 図

553.635 : 550.85 (521.16) : 622.24

福島縣若松鉦山石膏鉦床試錐探鉦位置選定調査報告

本調査は中島鉦業株式会社の要請により調査したもので、その目的は同社若松鉦山が試錐探鉦をするための位置を選定することにあつた。

本鉦山は福島縣北会津郡一箕村大字石ヶ森にあり、地質は第三系淡緑色凝灰岩および同角礫凝灰岩とこれを貫く石英粗面岩からなり、これを被つて火山岩層がある。

石膏鉦床はこれらのうち淡緑色凝灰岩および同角礫凝灰岩中に 胚胎する塊状交代鉦床で、南北に少しく延長

し、北方へ20° 前後傾斜する。

最近本鉦山では坑内探鉦を行う傍ら、目下の増産状況からみて現鉦床の残鉦に不足を感じ、予想される地点に試錐探鉦を計画している。

本鉦山附近には地質上から見ても新鉦床の賦存する可能性のあるところであり、このうち A, B の2点を選定して試錐地とした。(木村 正)

553.435 : 550.85(521.83) : 622.343.5

岡山縣眞庭郡津田鉦山含銅磁硫鉄鉦鉦床調査報告

本鉦山は岡山縣眞庭郡津田村字小谷(姫新線美作落合
駅南直距12km)に在る。

附近の地質は古生層で占められ、2,3の石英粗面岩の
小露出があるのみである。

鉦床は古生層の石灰岩中に胚胎した塊状の高温交代鉦
床で、平行する4鉦体(最大なもので厚さ3m,長軸45
m,短軸20m)からなる。磁硫鉄鉦を主とし、黄銅鉦を

混えるほか、灰鉄輝石が多い。

従業員:25名。昭和26年生産高,銅鉦225t(Cu 6.6
%),硫鉄鉦15t(S 34%)。

附図 坑道準別鉦床図 3葉
 截面図 2〃 } 印刷省略
 地形ならびに鉦量図 1〃 }

(調査:土井啓司,抄録:岸本)

地質調査所月報4巻6号46頁正誤

行	誤	正
左下4	る東西方向	なお吉備町附近には No. 31, 27, 42 および 36 を連ねる東西方向
右1	なお吉備町附近には No. 31, 27, 42 および 36 を連ね	トル